

進修館 NEWS

コミュニティセンター進修館

無料見学デー

8月15日(木)開催!

📷📱 撮影OK

進修館は象設計集団によって設計された世界的にも著名な建築物です。テレビやインターネットなど数多くのメディアでも取り上げられ、見学目的で来館される方も年々増加傾向にあります。

通常、進修館では館内を見学される際、「2Fロビーや光路、コロネード、テラスといった共用スペースは、(無料で)ご自由に見学いただけます。大ホールや

小ホール、その他の各部屋の見学は(有料の)施設利用申請をおこなっていただく必要があります。」とお伝えしていました。そのため、「ほんの少し中を見たいだけ」とか「写真を1枚だけ撮らせてほしい」といった見学来館者の方には、大変残念な思いをさせてしまいました。

そこでこの度、皆さまに進修館の館内

施設を自由にご見学いただける「無料見学デー」を実施することにいたしました。「無料見学デー」では、大ホールや小ホールなど、通常は利用申請を行わないと見学できない施設も無料(出入り自由)で見学していただく事ができます。

建築に興味のある方、イベント等での利用をお考えの方、聖地巡礼などなど、是非この機会をご活用ください!

	見学可能時間		見学可能時間
大ホール	11:00 ~ 12:00	食堂	14:00 ~ 15:00
小ホール	13:00 ~ 14:00	和室	14:00 ~ 15:00
集会室	10:00 ~ 16:00	茶室	14:00 ~ 15:00
研修室	10:00 ~ 16:00	談話室	今回は対象外です

- ※ ご利用は見学目的に限ります。占有(座り込みでの会話や作業、荷物・撮影機材の配置など、即座に移動ができない状態)は不可となります。
- ※ 個人で楽しむ範囲においての撮影、および、撮影した写真・動画の利用については、制限(許可の必要など)はありませんが、その範囲を超えて利用される場合は必ず進修館に連絡してください。利用する内容により、条件等を提示する場合があります。(不特定多数の人がアクセスできる画像・動画投稿サイトへのアップロード目的での利用は「個人で楽しむ範囲」外となります。)
- ※ 施設内の備品の操作や使用(照明・音響操作やパネル・椅子等の配置換え、食堂の食器類の利用など)はできません。

その他の注意事項や、お問い合わせはコチラまで!
 進修館 1F窓口・2F窓口 ☎0480-33-3846 ✉info@shinsyukan.or.jp

ホームページリニューアルとLINE開始のお知らせ



2024年7月23日に、進修館公式ホームページをリニューアルしました。情報の見やすさと充実した内容を楽しんでいただくことを心がけて運営していきます。また公式ホームページのリニューアルとともに、公式LINEもスタートしました。公式LINEでは、週1回のペースで進修館の様々な情報をお届けいたします。只今お友だち募集中です。ドシドシご登録ください!

また公式ホームページ、ならびに、公式LINEは、現在プレ運用中で、正式運用は8月1日からとなります。(公式LINEの初回配信は、8月7日予定。)

新しいホームページとLINE配信に、ご期待ください!



カンパニー・ヒュッゲアーティスト紹介 第1回 ピアニスト 西村翔太郎 さん

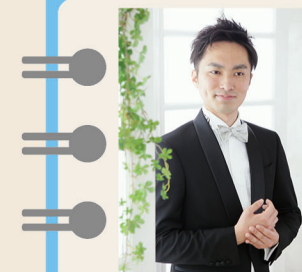
進修館の共催事業「ヒュッゲコンサート in 進修館」で素晴らしい演奏をご披露いただいているピアニスト西村翔太郎さん。今回は西村さんに「演奏家から見た進修館」について伺いました。

進修館は、人と音楽と建物が密接に関わっていると感じます。2階ロビーでは、ゆっくりお茶を飲みながら過ごしていて、たまたま会った方とあいさつを交わしたり、芝生広場で子どもたちが遊んでいたりと、写真を撮っていたり、催し物が開催されていたり、という風景の中に、人と人との温かい関わりを感じます。1階と2階があいまいにつながっているような感じですし、たくさんの入り口があるので、来た方がどんな入り方をしても自由ですね。そんな、決められていないあいまいなところから、自由な発想が生まれるように感じます。また、建物や土地全体が人と人とを結ぶような感じがしていますし、そういった空間で音楽をすることがとても魅力と感じています。

他の音楽ホールなどでは、舞台と客席というエリアの違いがあって演奏者との距離を感じることがあるのですが、進修館の大ホールや小ホールでは、そういった部分が取り払われていて、音楽と演奏者とお客様との3つの関係が密に感じられるところがとてもいいと思っています。演奏中にステージで孤独を感じることもある中、進修館ではお客様の反応を身近に感じられ、それがとても心地いいのです。とても素敵な空間だと思っています。



最近甘いものにはまっているという西村さん。演奏のために訪れた先では、地元のお店に行くそうです。お菓子選びもさることながら、お店でのささやかな会話も楽しみとのこと。演奏する前と後では体重が1~2キロ減ってしまうほどエネルギーを使うそうなので、甘いものでホッとひと息、といったところでしょうか。インタビューを通じて、ステージ上での演奏家としての顔とはまた違った、穏やかで優しいお人柄を感じました。



■西村翔太郎(ピアノ)
 秋田県生まれ、埼玉県育ち。埼玉県立大宮光陵高等学校を経て、東京藝術大学および大学院を首席で卒業・修了。その後、イモラ国際ピアノアカデミー(伊)を修了。第14回東京音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆賞、第7回 Euregio Piano Award(独)第2位ほか、数々の国内外のコンクールで入賞。「感情的かつ緻密さを兼ね備えた音楽家」と称され、多岐の分野にわたり好評を博す。東京藝術大学、桐朋学園大学、大宮光陵高等学校、桐朋女子高等学校[男女共学]各非常勤講師。

台湾から進修館の見学にいらっしゃいました

2024年7月3日、台湾の中原大学(Chung Yuan Christian University)の造園学科(Department of Landscape Architecture)の許宜珮先生とその学生9人が進修館の見学にいらっしゃいました。中原大学の来館は、2023年に続き2回目となります。まずは進修館の建築

や運営についてお話しした後、館内をじっくりご覧いただきました。当日は進修館を設計した象設計集団東京事務所から建築家の関郁代さんも同席され、進修館や笠原小学校なども含むエリアのグランドデザインに関するお話を伺うことができました。

引率された許先生は、「台湾の設計やコミュニティの作り方とはちょっと違う。今回の経験やマテリアル(素材)を持ち帰って、学生たちがデザイナーになったとき、進修館での経験はビッグヘルプ(大きな助け)になると思います。」とおっしゃっていました。



小ホールで記念撮影



象設計集団の関さんによる座学



和室の視察の様子